

死神博美と想の
彼女2

His gun



成人指定



嵐が来る

海鳥が何もない海の上で
ぐるぐると回り始める

ぼくは
覺悟を決めなくては
ならない

やがて
空と海とぼくの境界が
曖昧になる

あらゆるもののが
元からそうであつたように
溶けあつていく

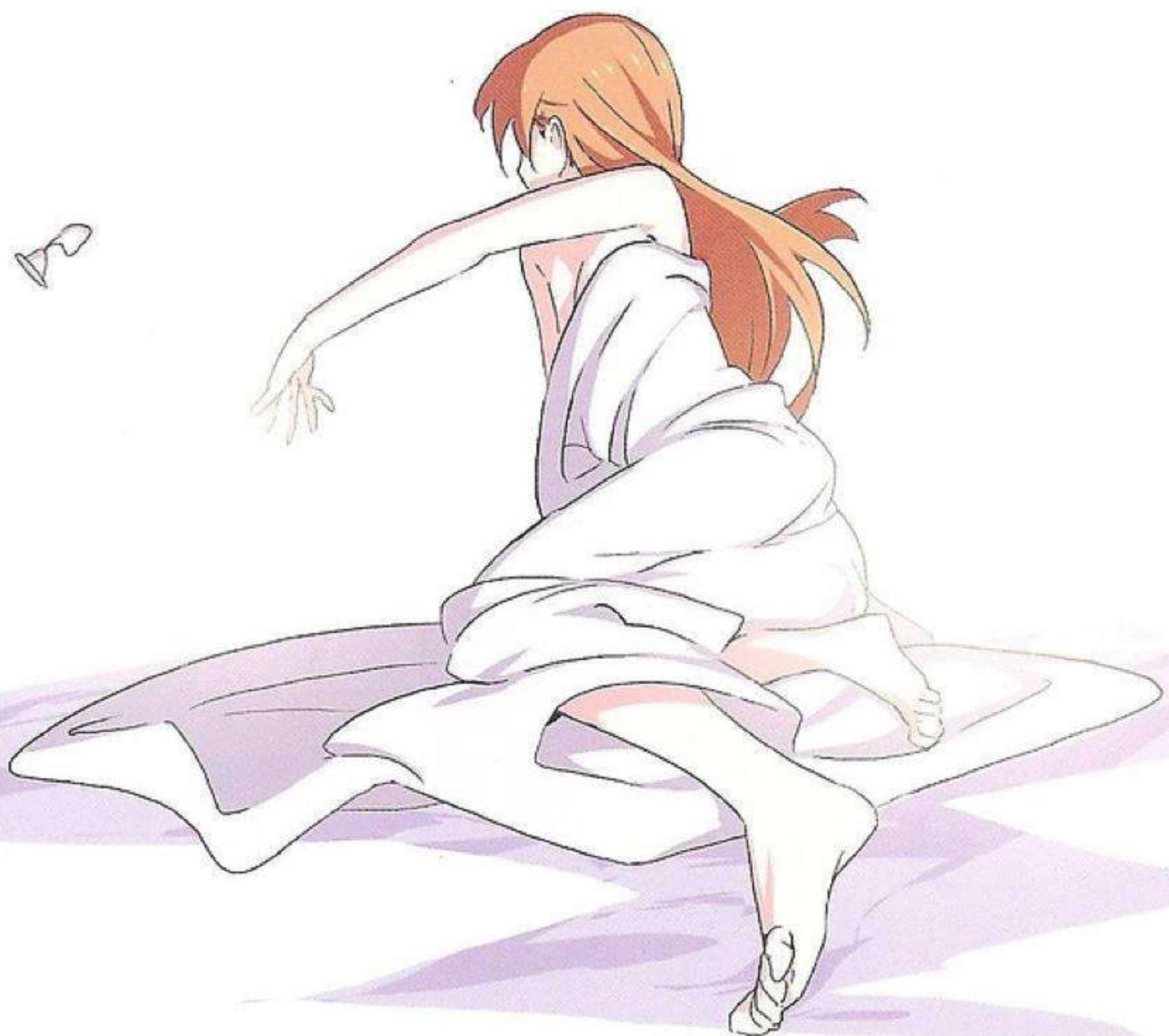
ある時は赤く
ある時は青く

青い海を目にしたのは
もう遠い昔で
うまく思い出すことが
できない

アスカ

ねえ
アスカ
もう起きないと

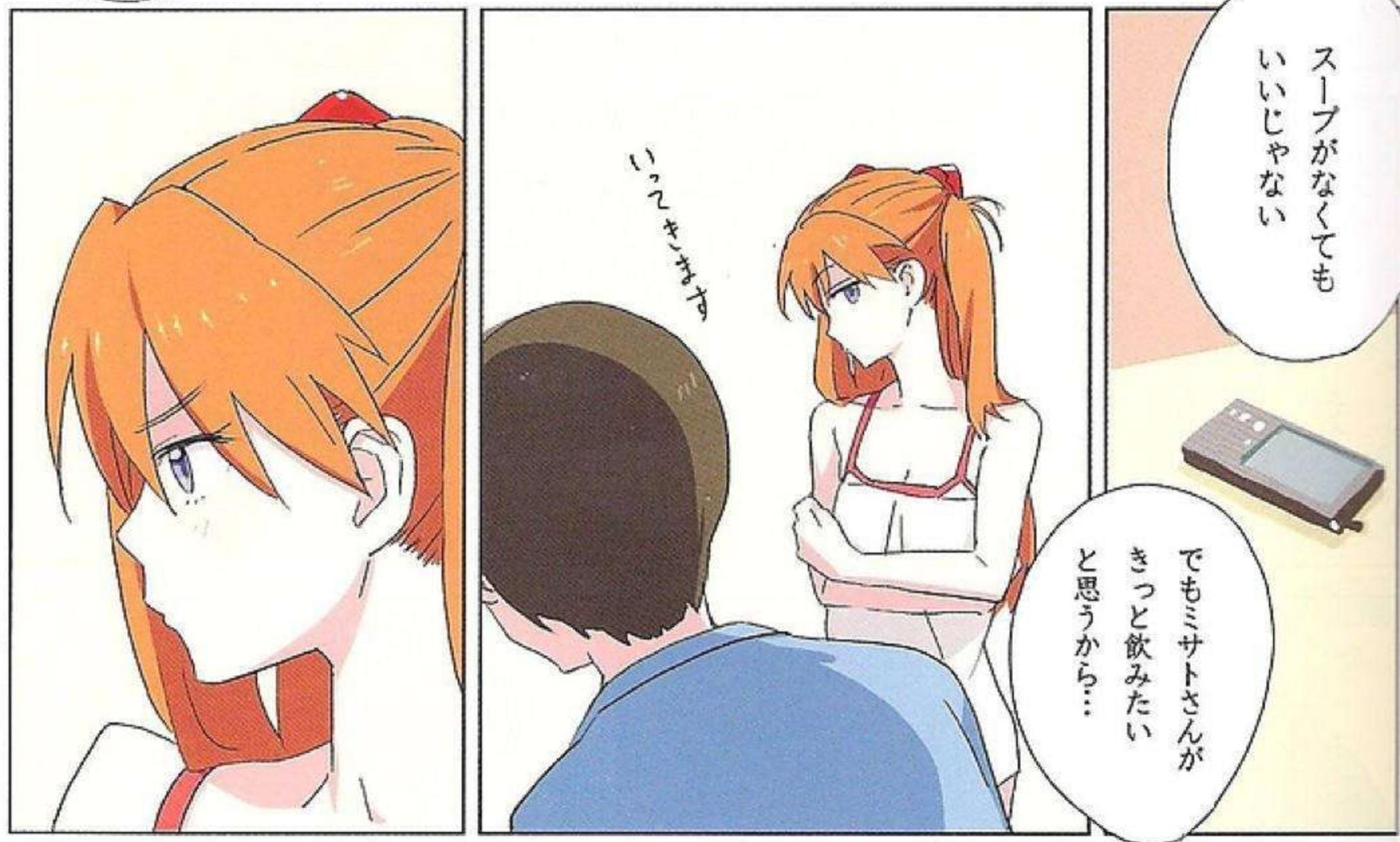
ミサトさん
帰つて来ちゃうよ

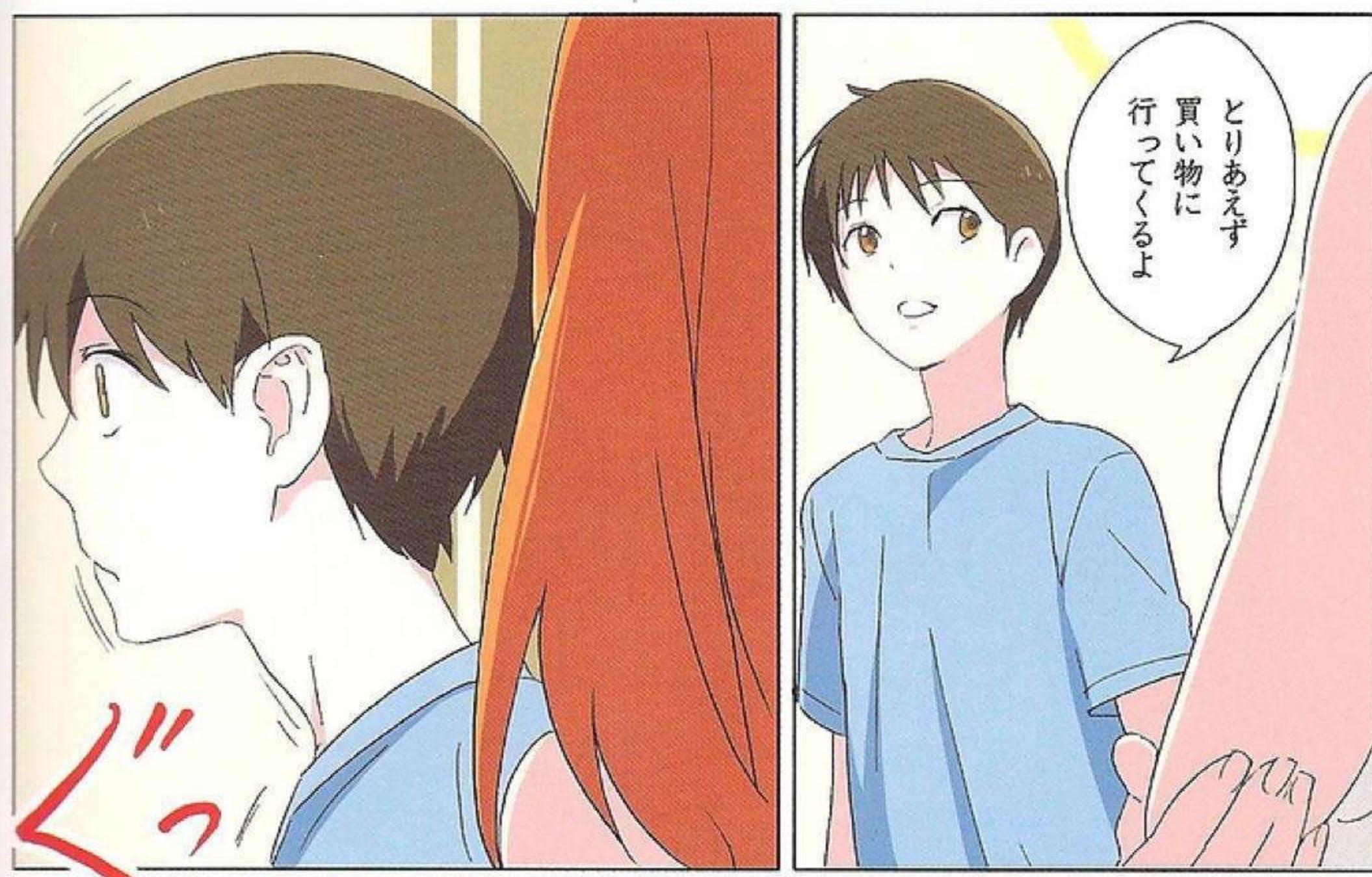


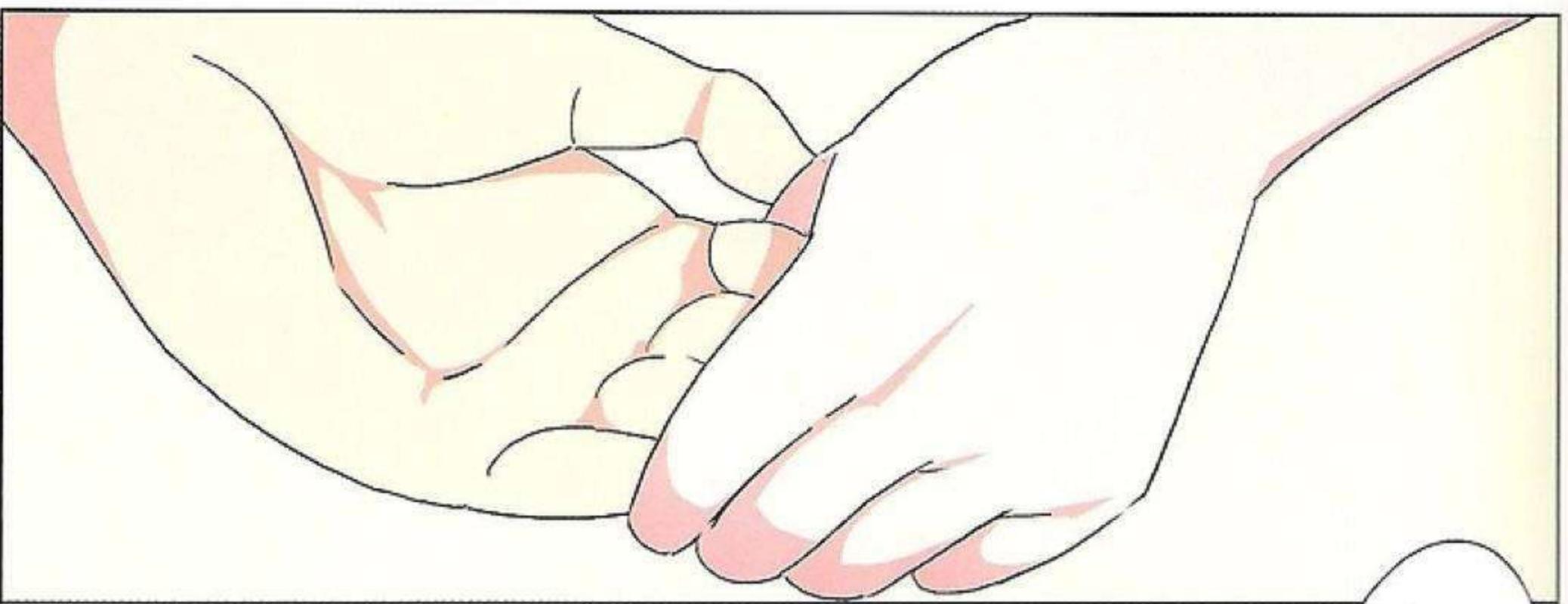
彼岸死と幻
幻想の使徒2

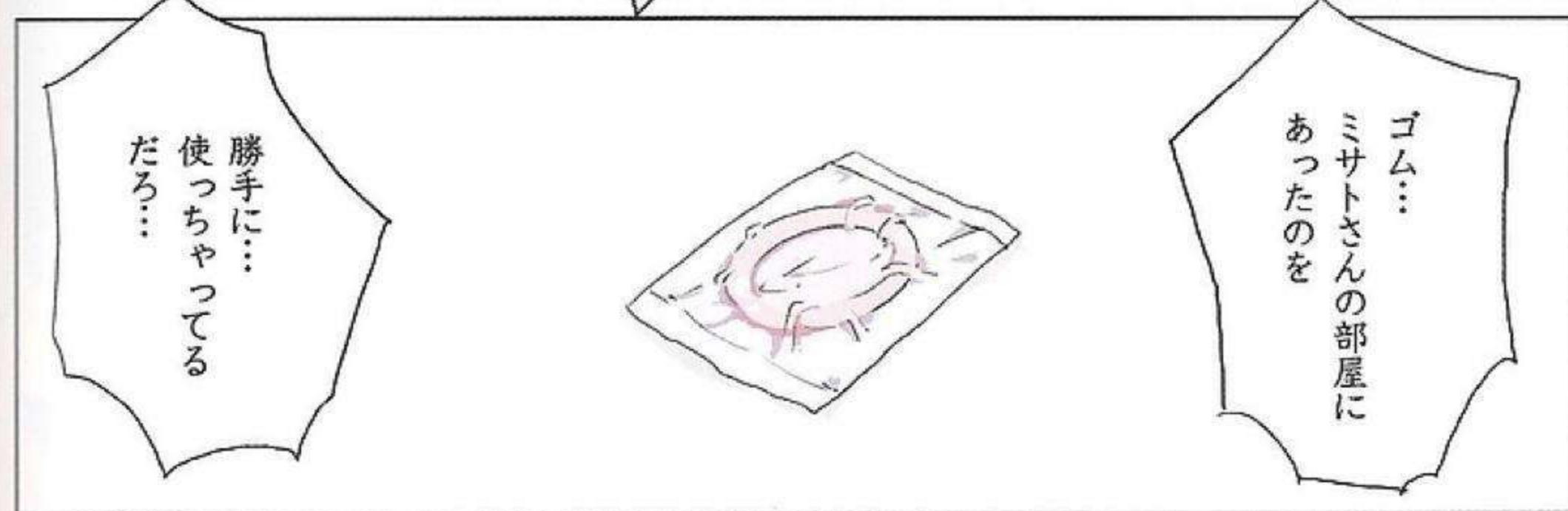
His gun













ミサトが
コンドームの数に
気づかないなんて
もちろん嘘

仮に
気づかなかつた
としても

わたしたちがこの辺で
何を買ったかなんて
ミサトは電話一本で
知ることができる

わたしたちには
プライバシーなんてない

特にネルフは
そういう意識に対しで鈍感だ
熱心に鈍感であろうしている

話そうとも思わない
どうしてだろう？

でも私は
そういうことを
シンジに話さない

私とシンジの体に残った
性交の痕も
大画面のモニタに
表示されることだろう

わたしはこの馴れ合いを
誰にどう思われても
別に構わない

わたしはただ
エヴァの優秀なパイロット
でさえあればいい

でも
シンジは違う

バカだから
どう思われるかつてことを
すごく気にする

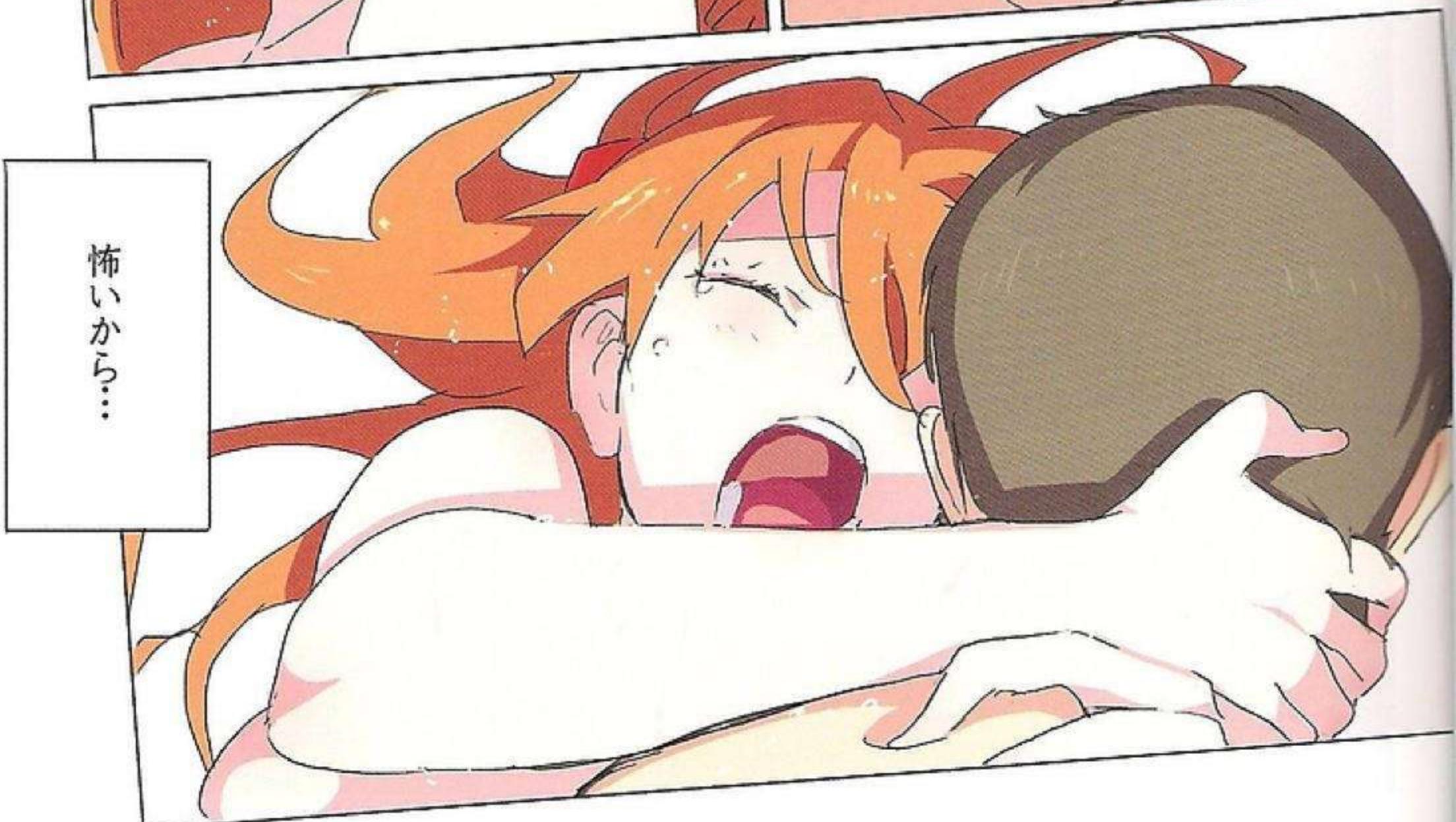
私がシンジに
話さないのは
そういうこと?

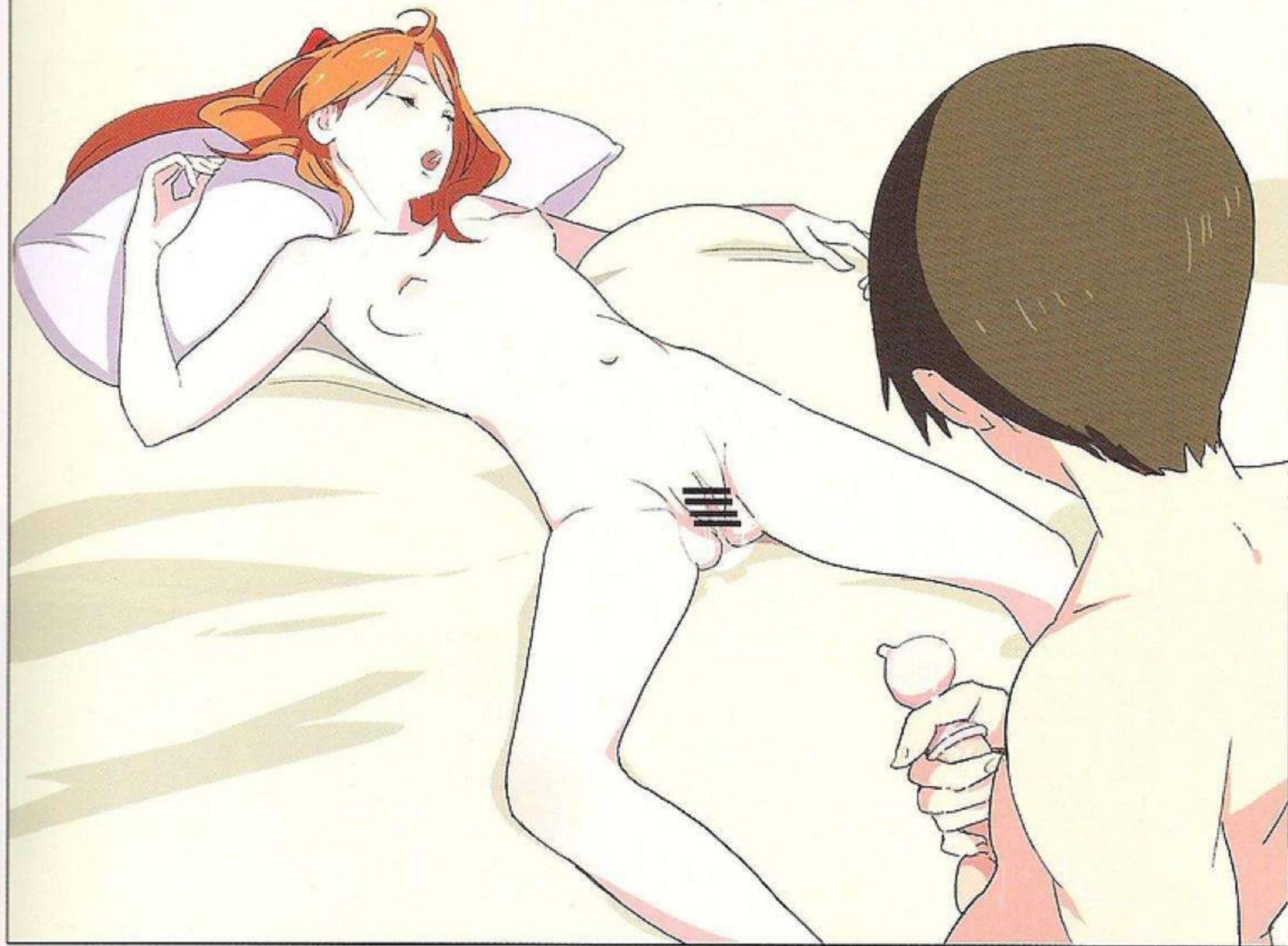


こんな感情は
嫌



怖いから…





…アスカ
寝ちゃったの？

やつぱり
すこし寂しい…



ねえ…

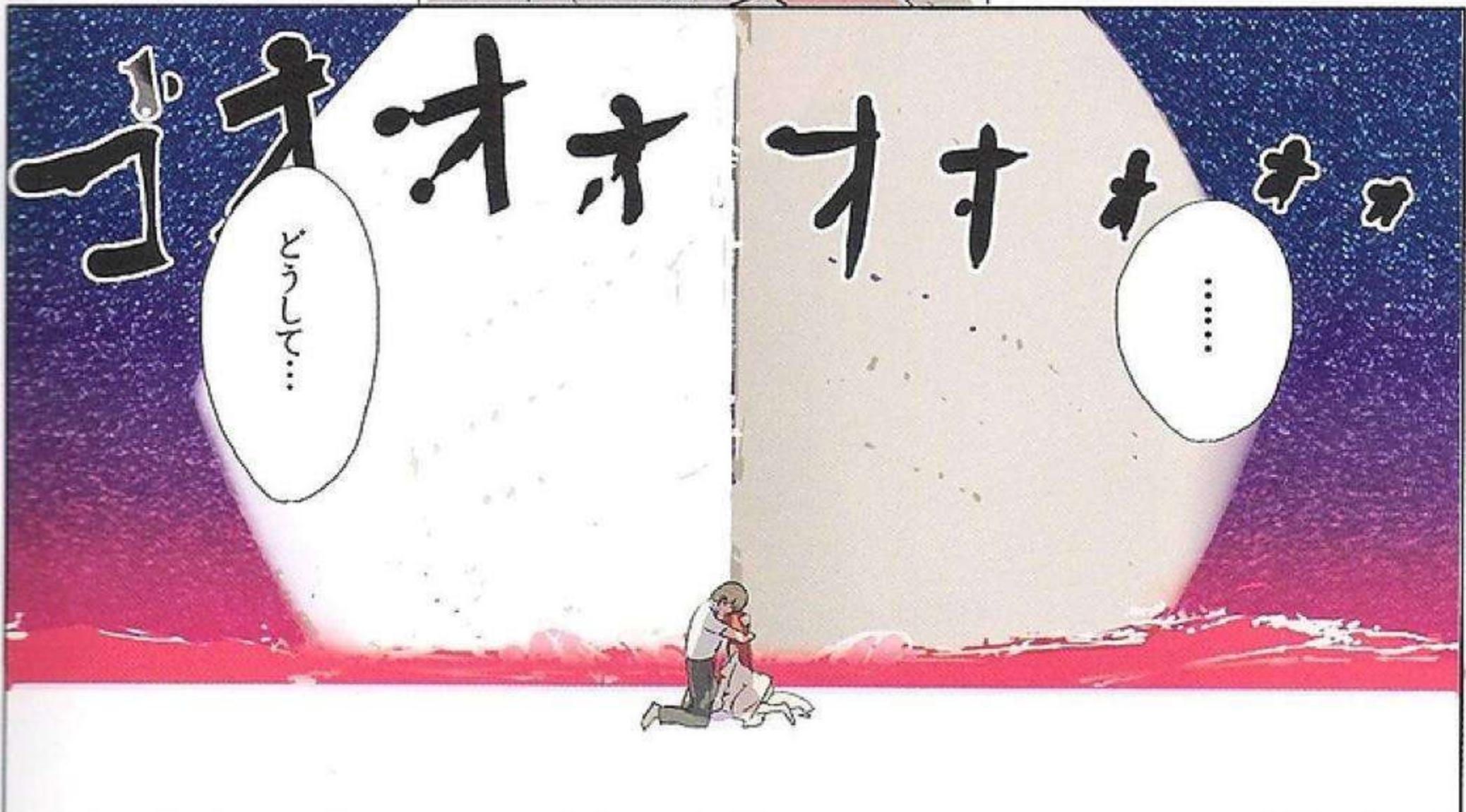
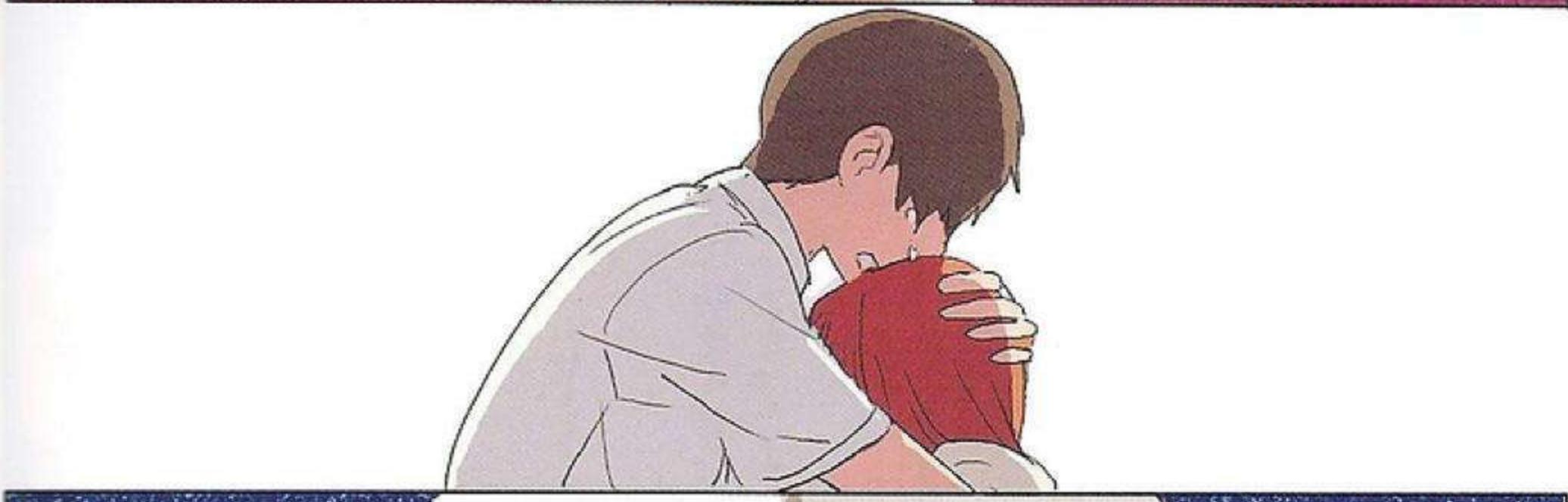
…怖いのは

嫌なの



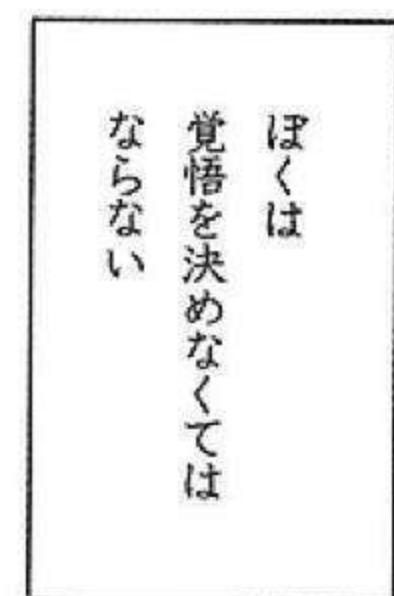








嵐が来る



次回
幻想の死と使徒3

方舟

ハコブネ



俺が終わらせてやるよ



あとがき

前回は「アスカいるくてマジヤバしい」とかいくを
出したかったので、あまり描けませんでしたが、今日は
アスカ無双です。何か言いたいかというとアスカはツン
とかデレとかを超越した何かであるということです。
アスカは本当は夕日たれど夕日目に描きます。

最後に、トランスクスのうさんへ感謝を!!
本を出せとかでさうはあなたのおかげです。

ごはまた。
melaas



幻想の死と使徒2
彼岸 ~ His gun ~

2010年8月15日 初版発行

著者：mebae

印刷：株式会社トランスマックス

禁無断転載、複製

めばえあにめ

<http://mebae.jugem.jp>

